

PICK UP!!

お 職員の推し本



なぜ働いていると本が読めなくなるのか

三宅 香帆 / 集英社

タイトルを見て「私のことかな…」と思った人も多いかもしれません。私もその一人。学生時代はあんなに本を読んでいたのに、気づけば最近読めていない！っていうかこれ、私だけの現象じゃなかったんですね…？

自称文学オタクの著者も、就職してから本が読めなくて悩んでいたそう。「なぜ」を日本人の「労働の歴史」と「読書の歴史」から探ります。時代ごとに読書と日本人のかかわりを見ていくと、「確かにそんな時代だった。身に覚えがある」と納得することも多いのではないのでしょうか。

「働いているとこの本すら読めない」なんて嘆かずに、ぜひチャレンジを。読書に対する考え方とハードルが下がること間違いなしです。

貯まらない生活はもうやめよう

ミニマリストTakeru / KADOKAWA

モノを減らすと、モノとの向き合い方だけでなく、お金や時間との向き合い方が変わる…

ミニマリストになったことで収入も資産も大きく増やしたユーチューバーでもある著者が、自身の体験談をもとにお金の貯め方・使い方・増やし方を紹介しています。

冬にできなかった片付けなどはありませんか？

これから暖かくなってくる今の時期に、すっきりモノを減らして、身軽に過ごしていきましょう！



うそコンシェルジュ

津村 記久子 / 新潮社

日常の困ったことをやり過ごし、目の前の「今」を生き延びるための11篇の物語。

その中の「うそコンシェルジュ」は、誰かを助けるために、まじめに嘘を考える請負人の話です。誰もが「嘘つきは泥棒の始まり」と教えられ、嘘をつくことにはうしろめたさを感じるはず。しかし、優しい嘘や、その場をやり過ごすための嘘もある。素直に、正直に生きたい半面、そうもいかないこともあり…。

淡々とした文面ですが、笑いあり、共感あり、そこまで考えなくてもいいのでは？とつつこみながらも楽しめる小説です♪